

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	県立大磯城山公園		
所在地	大磯町国府本郷551-1		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/ooisojoyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和62年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	H21. 4. 1 ~ H27. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
S	<p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて「地域との連携と湘南文化の発信」「地域づくりに繋がる公園づくり」事業を実施し、地域イベント「おおいそフラワーフェスタ」や大磯城山公園メインイベント「もみじのライトアップ」等を盛り上げ、公園の魅力伝える等の実績をあげた。規模の小さい公園ではあるが、公園内にとどまらず、地域と連携してイベントを開催し、地域の活性化に貢献したことはおおいに評価できる。</p> <p>◆利用状況 HP、公園だより、ポスター、パンフレット、町の広報、関係機関の広報媒体等を利用した広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数が目標対比増減率で308.8%となったため、S評価となった。また、前年対比でも地域と連携したイベント実施等の結果、24.4%のプラスとなった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が100%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 収入合計と支出合計の比率が100%となったためA評価となった。駐車場収入が計画の51%であったため、支出も総収入にあわせ計画の96%に見直したが、この公園の特徴である植物の管理については充実させた(対前年比27%増)ことは評価できる。</p> <p>◆苦情・要望等 特になし</p> <p>◆事故・不祥事等 事故後の対応も適切であった</p> <p>各項目の管理運営状況により総合的に勘案した結果、総合評価はS評価となった。</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無し	無し
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	週1回程度	無し
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	○有、無	指導・改善勧告等の内容
		事故後に随時モニタリングを実施し、対応状況等を確認した。

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
4、5月に「おおいそフラワーフェスタ」の実施。大磯町商工会・おおいそオープンガーデンホーム運営委員会等と連携し、「ディスカバー大磯」（本公園の魅力を伝え、満喫していただく）を目指して、利用者数の向上を図る。	4月10～30日、5月17～18日に商工会主催「おおいそフラワーフェスタ」に参加し、「オープンガーデン写真展」（1,770人参加）「コンテナガーデン教室」（12人参加）「城山マルシェ」（412人参加）「吉田茂邸のバラ絵画展」（690人参加）を実施。地域と連携して湘南文化を発信した。イベント総参加者数5,984人となった。（計画4,364人）	公園内にとどまらず、地域イベントの拠点として、連携して実施することにより、公園の魅力を広く発信し、計画を上回る来園者数となった。
11月に「ユニバーサルデー」の実施。社会福祉団体等と連携し、「おもてなしの心でのお出迎え」「利用促進の新たな展開」を目指して、高齢者や障がい者の利用促進を図る。	11月7～11日に「ユニバーサルデー」を実施。大磯ガイドボランティア協会と連携して、歩行が困難な方を対象とした公園案内を行った。雨や寒さの影響で来園を中止された応募者もあり、参加者数は21人となった。（計画50人）	公園の特性（地形、利用者層）を踏まえた利用促進の手法を提案し、関連機関と連携して実施し、参加者からも喜ばれた内容であった。
11月に「もみじのライトアップ」の実施。大磯町・観光協会・商工会・ガイドボランティア協会等と連携し、「別荘跡地として由緒ある魅力を伝える公園づくり」「地域づくりに繋がる公園づくり」を目指し、利用者数の向上、大磯の活性化を図る。	11月26～30日に「もみじのライトアップ」を実施。町の一大イベントに成長したこのイベントを、地域との協働により、演奏会や模擬店を実施し、各所HPや行政広報、新聞社、大手情報雑誌等に情報提供してPRを拡大し、広域利用者の誘致に努めた結果、県内外からの来園者があった。開催期間5日間のうち、2日間は雨天であったため、参加者数は計画を下回る8,000人となった。（計画10,000人）	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
「駐車場の管理運営」 駐車場内や周辺道路の渋滞を防ぎ、利用者の利便性、安全性を確保するため、有料で運営。	収入2,688,690円（計画5,258,000円） 支出4,838,830円（計画5,258,000円） 計画の約50%となる収入で、差額は協会本部の自主財源より補填した。
「茶室の管理運営」 茶室「城山庵」や控えの間の貸出を行い、また、茶道教室等を開催して、利用促進を図る。地元の和菓子とセットの抹茶を提供するほか、地産品の販売を行う。	収入2,507,660円（計画2,494,000円） 支出2,348,052円（計画2,324,000円） 収入収支ともほぼ計画どおり（約100%）となった。
「自動販売機の設置」 公園利用者の利便性を図るため、清涼飲料を提供する。販売品目はリサイクルに配慮した商品とし、災害対策システム等が充実している事業者を選定。	収入840,224円（計画593,000円） 支出287,859円（計画129,000円） 収入は計画の約140%、支出は計画の約220%であり、計画以上の需要があった。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	〔参考〕直営／管理委託／指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	110,056	143,144	260,666	324,260
対前年度比			182.1%	124.4%
目標値	〔目標値設定根拠〕	105,000	105,000	105,000
目標達成率	平成18～20年度実績平均の95%	136.3%	248.3%	308.8%

〔 参考：最大利用可能人数 〕

					合計
定員					
年間利用可能日数					
最大人数※1	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
S	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	すべての調査項目について「満足」回答が90%以上であり、来園者の満足度は非常に高い。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数／配付数 109 / 109 = 100.0%

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	102	6	0	0	0	108	植物管理・清掃管理・接客について満足したというコメント回答が多かった
回答率	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	89	24	3	1	0	117	
回答率の対前年度比	124%	27%	0%	0%	-		

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	44,730	45,256	62,406	66,845	※その他収入＝ 駐車場収入(自 主事業)
指定管理料	43,301	43,706	59,876	61,587	
利用料	0	0	0	0	
その他収入	1,509	1,473	2,692	2,688	
合計	44,810	45,179	62,568	64,275	
対前年度比		100.8%	138.5%	102.7%	
対計画比	100.2%	99.8%	100.3%	96.2%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	44,730	45,256	62,406	66,845	
支出額	44,310	44,678	62,004	64,194	
(内 納付金)					
対前年度比		100.8%	138.8%	103.5%	
対計画比	99.1%	98.7%	99.4%	96.0%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	0	0	0	0	
収支差額	500	501	564	81	
対前年度比		100.2%	112.6%	14.4%	
収入合計／支出合計の比率	101.1%	101.1%	100.9%	100.1%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
H26年8～9月	657	旧三井別邸地区南トイレ配管補修工
H26年8月	497	旧吉田茂邸地区警報送信機交換
H27年3月	1,315	旧三井別邸地区南トイレ便器交換
H27年3月	799	旧吉田茂邸地区井戸ポンプ交換

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：30万円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	0 件		
	0 件		
職員対応	0 件		
	0 件		
事業内容	0 件		
	0 件		
その他	0 件		
	0 件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
4月11日	園内で人が倒れていると来園者から連絡あり	酒気帯びのため	①警察へ通報（警察が現場確認後、救急車を要請） ②特になし
5月2日	園路で来園者が転倒し、縁石に後頭部をぶつけて怪我	園路の排水用溝につまづいたため（これまで同箇所での転倒事故の発生なし）	①救急車の要請、園路パトロールの実施（段差箇所の把握）、翌日「段差あり」注意喚起看板を入口3箇所に設置 ②園路状況の現地確認・対応状況の確認
6月26日	ボランティアがパラの剪定作業中にハサミで指を切創	作業時の注意事項については事前に指導されていたものの、作業用の手袋をせずに、ポケットに入れたハサミを取り出したため（不注意）	①怪我の応急手当て、はさみケースの準備、作業前の注意喚起を行い再発防止を図る ②作業時の注意事項の周知徹底状況の確認
1月26日	最徐行で作業車が来園者とすれ違った時に荷台の脚立が来園者と接触（怪我なし）	固定ロープがゆるみ車両から脚立が少し、はみ出したため	①相手方にすぐその場で謝罪、再発防止のため2月1日に事故防止対策会議を開催し、全職員へ周知徹底を図る ②再発防止の徹底状況の確認
2月12日	園路で来園者が転倒し、園路脇の石積に前頭部をぶつけて怪我	よろめいたため	①救急車の要請、止血のためのタオルの提供、園路の状況確認（問題なし） ②園路状況の現地確認
3月4日	日本庭園の池に幼児が落水。母親がすぐに引き上げた（怪我なし）	保護者（両親）が目を離した時に池の中の亀に近づいたため	①タオル、毛布の提供 ②特になし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。